

令和3年

第1回仙北市議会臨時会

市政報告

仙北市

令和3年第1回仙北市議会臨時会 市政報告

令和3年第1回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、新型コロナウイルス感染症対策関連についてです。

年末年始以降、全国で新型コロナウイルス感染症が急激に拡大し、秋田県内でも毎日のように感染者が報告されています。政府では1月7日、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、1都3県に、1月13日には、栃木県、岐阜県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県の7府県に、それぞれ2月7日まで緊急事態宣言を発令しました。2月2日には栃木県を除く10都府県でその期限を3月7日まで延長しています。このような状況を踏まえ、1月12日に開催した市の対策本部会議では、県の対応に準じて緊急事態宣言の発令地域との往来を自粛することや、マスクの着用・手洗いなどの基本的な感染対策を徹底することなどを確認しています。

次に、新型コロナのワクチン接種についてです。

国では、コロナ禍の早期終息のため国民すべてを対象にワクチンの接種を早急に進めることにしていて、実施主体は市区町村が担うことになっています。仙北市は2月1日付けで新型コロナウイルスワクチン接種推進室を立ち上げ、専任職員3人を配置し健康管理センターで準備業務に取りかかっています。

今回のワクチンの接種事業は誰も経験したことがない取組みですが、市民一人ひとりにご協力をいただきながら、全ての接種を終えるまで万全の体制で臨みたいと思います。

本日の臨時会に接種に係る補正予算を提案しています。予算は実際の接種に係る「ワクチン接種対策事業」455万4千円と、主に接種の準備に係る「ワクチン接種体制確保事業」1,370万5千

円で、その総額が、1,825万9千円です。令和3年度分は新年
度予算に計上します。

今年度分の予算の主な内容は、会計年度任用職員（看護師2人・
事務員5人）の配置、接種券、予診票の発送業務、健康管理システ
ムの改修、コールセンターの設置などのほか、医療従事者の個別接
種委託料と接種会場に必要な物品の購入です。

現在の国の方針としては、4月1日以降、①65歳以上の高齢者
（昭和32年4月1日以前に生まれた方）からスタートし、次に、
②高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されてい
る方、最後に③それ以外の市民の皆様の接種が行われる予定です。
なお、都道府県が事業主体となる医療従事者等の接種は、先行して
2月中旬から始まる予定です。

できるだけ多くの市民の皆様に接種いただけるよう、市広報には
毎回掲載をするほか、ホームページやSNSを活用して情報を発信
していきます。

次に、一般会計補正予算（第13号）についてです。

補正額は1,825万9千円の追加で、補正後の額は272億1,
793万4千円です。補正事業は新型コロナウイルスワクチン接種
体制確保事業費、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費です。
ワクチン接種をできる限り早期に始めたいと考え、関係予算の補正
を本臨時会でお願いするものです。

次に、令和3年度当初予算についてです。

令和3年度一般会計の当初予算案は、現在、最終の調整を行って
います。いかなるコロナ禍の状況にも対応できるよう、できる限り
の予算規模縮減に努め、また、総合計画・総合戦略の後期初年度と
しての役割を担える内容にしたいと考えています。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇市税等の収納率について

12月末現在の市税等の滞納繰越分収納率は、前年同月比で普通税が4.3ポイント増の19.5%、国民健康保険税が2.6ポイント増の29.6%、後期高齢者医療保険料が13.2ポイント増の40.5%です。

また、現年度課税分は、前年同月比で普通税が1.9ポイント減の87.2%、国民健康保険税が2.6ポイント増の72.0%、後期高齢者医療保険料普通徴収分が2.5ポイント増の78.7%です。引き続き収納率の向上に全力で取り組みます。

◇災害対策について

昨年12月から秋田県内陸南部で豪雪となりました。上桧木内出張所付近の積雪が100センチを超えたことから、1月5日に仙北市雪害対策部を設置しましたが、大雪の警戒対策を強化するため、1月7日に仙北市災害対策本部に改組しました。同日に仙北市を含む県南7市町村に災害救助法が適用されています。

同じく1月7日に、仙北市に暴風雪警報が発令されました。市内でも翌8日にかけて風が強まり、角館町下延地区や菌田地区で停電が発生し、西木町上荒井の住宅1戸で窓ガラスが割れる被害がありました。市道では5カ所で倒木があり一時通行止めとなりました。

1月8日には雪が強まるとの予報から上桧木内地区紙風船館に自主避難所を設置するなどして、安全確保の対応にあたりました。

雪害事故については、1月10日から現在まで市内で屋根から転落するなど8件の雪害人身事故が発生し、7人の方が重傷となっています。

今後も大雪や暴風雪などの気象情報に注視し、関係機関と連携を図りながら、市民へ防災無線や安全安心メール、ツイッターなどで最新の情報発信を強化し被害防止を図ります。

また、岩手県宮古市から200万円のお見舞金をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

◇消防出初式について

1月6日、仙北市民会館を会場に仙北市消防出初式を開催しました。今年は新型コロナの感染拡大防止のため、分列行進を行わず市民会館で式典のみを挙行しました。式典で佐竹敬久秋田県知事の出席を賜り、これまで長年にわたり消防活動に功績のあった皆様の表彰、また、消防団幹部として退職された方々への感謝状贈呈などを行いました。

◇火災事案について

1月22日午後1時35分頃、田沢湖神代字勘解由屋敷（かげゆやしき）地内で住家建物火災が発生しました。出火から約1時間30分後に鎮火しましたが、建物は全焼し隣接する小屋など3棟も延焼しました。焼け跡から火元に1人で暮らしている草薨榮（さかえ）さん（67歳）の遺体が発見されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。出火原因は調査中です。

さらに、1月25日午後3時25分頃、角館町川原羽黒堂地内で住家建物火災が発生しました。出火から約1時間40分後に鎮火しましたが建物は全焼しました。この火災による人的被害はありませんでした。

今年に入り各地で火災が多発していて、これからもしばらくは暖房など火を取り扱う機会も多いことから、消防署と連携して火災予防の啓発を強化します。

【市民福祉部】

◇インフルエンザ予防接種及び新型コロナPCR検査の助成状況について

12月分までの季節性インフルエンザ予防接種の助成状況は、仙

北市全体で13,164人で52%の接種率です。うち65歳以上の方は10,777人中6,521人で60.5%です。例年5割程度の接種率ですので、1,000人以上多く接種されたことになります。妊婦を含む19歳から64歳までの方は4,897人、生後6か月から高校生までの方は、小学校まで2回接種となっているので1回目までの人数となりますが1,746人です。

また、PCR検査の助成状況は、これまで8件の申請がありました。65歳以上の方が7人、不安を抱える方1人となっています。

【観光文化スポーツ部】

◇入り込み客数等について

まだ暫定値ですが、令和2年1月から12月の年間の入り込み客数は2,181,868人で、令和元年の5,036,323人に対し43.3%です。また、宿泊者数は合計346,388人で、昨年の504,967人に対し68.6%です。

月ごとの状況を見ると、1～2月はほぼ前年同様、3月からは徐々に新型コロナの影響が出始めて入り込みで7割強、宿泊で5割強となり、4～5月は桜まつりの中止などで入り込みも宿泊も1割を切る状況となりました。秋田県プレミアム宿泊券が始まった6月、「Go To トラベルキャンペーン」が始まった7月になると、入り込みで5～7割、宿泊で3～5割程度まで持ち直し、コロナ第2波の影響でお盆前後を中心に8月は少し落ちたものの、同キャンペーンの東京発着が開始された秋以降は、入り込みで8～9割、宿泊は11月の126.8%を筆頭に各月100%を超える状況となりました。

しかしながら、昨年末からは第3波の影響、また、同キャンペーンの中止等で、キャンセルの発生・新規予約の伸び悩みなどの報告を受けています。

現在は、安全対策を取りながら、秋田県のプレミアム宿泊・飲食券や、仙北市の冬のプレミアム観光券の利用による県内客の流動頼

みという状況です。平成23年の東日本大震災以上に、断続的かつ長期間にわたる影響が観光統計等の数値からも明らかです。

◇冬のプレミアム観光券等について

冬期間の観光支援策として実施する仙北市冬のプレミアム観光券は、1月12日から19日まで8日間の応募期間に9,659人の応募がありました。1月25日に抽選し、秋田県内の4,600人の方へ購入引換券を、抽選からはずれた方には、令和3年度の桜まつり期間中を除く4月1日から11月30日の間に1度使える桜並木駐車場の無料駐車券を発送しました。

観光券の使用期間は1月27日から3月21日までで、1月27日現在、宿泊施設・お土産店・飲食店など市内139の加盟店舗で使用できることになっています。

また、盛岡地域振興局、雫石町、雫石町観光協会、仙北地域振興局、田沢湖・角館観光協会と仙北市とで形成している雫石・田沢湖・角館地域誘客促進事業実行委員会で実施中の両県民限定「冬のささえ愛キャンペーン」では、合わせて1,970通の応募があり、抽選の結果、各県100人の方々へ、4月10日まで使える5,000円商品券がプレゼントされました。なお、応募者の県別割合は秋田県が67%、岩手県が33%とのことです。

◇小正月行事、冬のイベント等の状況について

冬期間の小正月行事、イベント等については、新型コロナへの対応として様々な変更があります。

実行委員会等から中止の報告があったものは、白岩城址燈火祭、上桧木内の紙風船上げ、中里のカンデッコあげ、松葉・相内の裸参りなどです。

規模を縮小し実施するとの報告のあったものは、2月13日に予定されている八津鎌足のどんど焼き、2月14日に予定されている角館の火振りかまくら、2月26日に予定されている生保内のなる

かです。例年は観光客の方にも参加をいただいている火振りかまくらについて、火振り体験の提供はやめ、見学や写真撮影のみとさせていただくことになりました。なお、中止となった上桧木内の紙風船上も伝承を絶やさないような取組みは行うと伺っています。

今年で50回目を迎えるはずだった田沢湖高原雪まつりは、今年のイベントは中止となり、第50回として来年2月に1年延期して実施する報告を受けています。

【農林商工部】

◇仙北市技能功労者表彰について

12月23日、技能者の社会的・経済的地位及び技術水準の向上を図るとともに、本市産業発展に資することを目的に優秀な技能者を表彰する仙北市技能功労者表彰を行い、木工分野で今野則夫（この のりお）さん、建設分野で古郡和男（ふるごおり かずお）さん、石材分野で大坂吉郎（おおさか きちろう）さんが受賞しました。

今後もそれぞれの分野において中核的な役割を担い、後継者育成にもご尽力をいただくことを期待しています。

◇融資支援対策について

新型コロナの感染拡大により、資金繰りに支障をきたしている事業者を支援する融資制度申請については、2月4日時点で認定件数372件、申請予定額54億9,028万円です。内訳はセーフティネット認定件数116件、申請予定額17億6,300万9千円、危機関連認定件数256件、申請予定額37億2,727万1千円となっています。

◇植物工場整備計画の事業延期について

（株）ハレタス田沢湖が田沢湖黒沢工業団地で、植物工場をフランチャイズ方式により事業展開する計画については、ハレタス田沢

湖、フランチャイズ母体企業であるバイテックベジタブルファクトリー、主力金融機関の秋田銀行、秋田県、仙北市の5者により、事業推進について定期的に協議を続けてきましたが、昨年末に、フランチャイズ企業から、新型コロナの影響で主要な供給先であるコンビニの市場動向が激変し、取引価格が下がってくるが見込まれる等、このままの事業継続には懸念があることが報告されました。

このため、事態の打開に向けて5者協議により検討を重ねてきましたが、直ちに効果が期待できる手法を見出すことは困難であり、事業を延期せざるを得ないとの判断に至りました。

本年度の補助事業の中止については、県を通じて手続きを進めています。また、2月定例会に本事業の所要予算を減額する補正予算を提案する予定です。ご理解いただきますようお願いいたします。

【建設部】

◇上水道の不具合について

1月25日から上水道取水管の不具合で、角館地区の約3,000世帯に断水等が発生しました。角館地区にお住まいの皆様は、多大なるご不便とご迷惑をおかけしました。心からお詫びを申し上げます。1月29日には通常の取水方式に戻り、通水も完了して断水は解消しています。

今回の断水では、角館浄水場に桧木内川からの水道用水を送る取水管に何らかの不具合が発生している可能性があり、特殊なテレビカメラで調査を実施しました。しかしカメラ映像で見ると異常はなく、一時的に管内部に取水を妨げる現象が発生したものと考えられます。節水のご協力をいただいた市民の皆様をはじめ、自主的に給水活動をしていただいた方々、昼夜を問わず復旧作業に当たっていただいた皆様、さらには、秋田市や大仙市からのご支援で不具合の5日間をつなぐことが出来ました。本当にありがとうございます。今回の断水を検証し、人財の育成と確保もあわせ対応強化の戒めとします。改めて市民の皆様にお詫び申し上げます。

また、生保内字造道地区、中生保内地区でも1月下旬から、水道水の不安定な状態が続き、地区の皆様には大変なご不便をおかけしています。揚水ポンプの入れ替えや、不具合箇所の調査などを進めるなど、昼夜を問わず全力で作業を続けています。機能改善まで今少しお待ちいただきたいと思えます。

【医療局】

◇新型コロナウイルス感染症即応病床確保について

新型コロナについては、県内でも病院内クラスター（集団感染）が発生するなど、感染者が増加する状況となっています。これを踏まえ、県では1月18日に独自警戒レベルを3（協力要請）へ引き上げるとともに、病床確保計画に基づき確保している病床数についても、5段階（フェーズ）中2番目に高いフェーズ3への引き上げを行っています。

これを受け、市立角館総合病院は1月18日以降、新型コロナウイルス感染症準備病院から、同感染症即応病床確保病院へ移行し対応にあたっています。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は、予算関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。